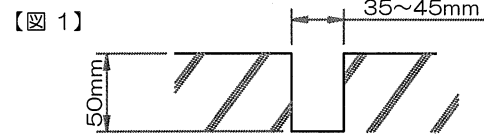


A
B
C
D
E
F

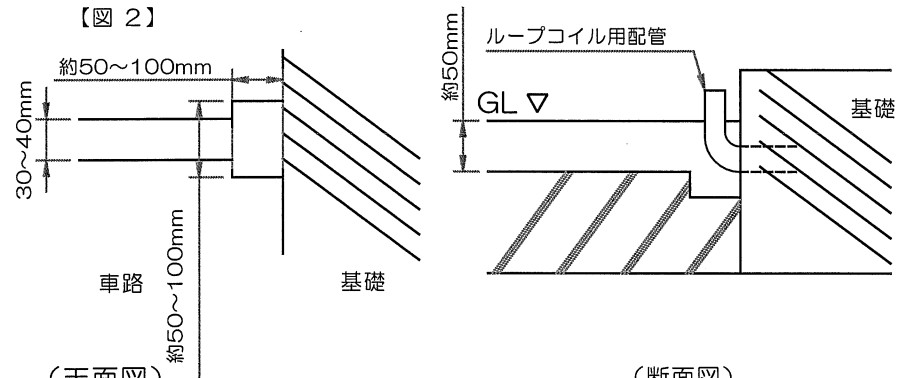
A
B
C
D
E
F

(1) 設置図面に従いループコイル埋設部の墨出しをする。

(2) 墨出しした路面をカットする。



(3) 基礎付近を、ループコイルの配管用に広めにカットする。ループコイルの配管は、GLより上まで取り出しておく。

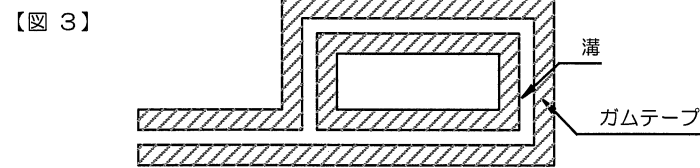


(4) 溝中のコンクリート、アスファルトカット面に突起が無いようにする。

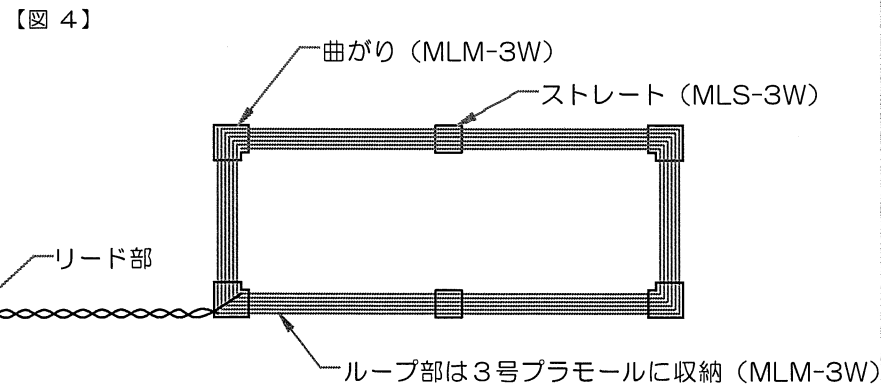
(5) 溝中の破片、小石及びゴミを取り除く。

(6) 溝中の水分を十分に乾燥させる。(トーチランプ、ガスバーナーにて。)
注：溝中が水分を含んでいると充填材と溝の接着が悪く、後日剥離する。寒冷地は特に注意のこと。(凍上がある為)

(7) 溝の回りをガムテープ等でマスキングをする。



(8) ループコイル寸法に合わせ組み立てる。



(9) 図4の組立図を参考にモールからカバーを外して並べる。

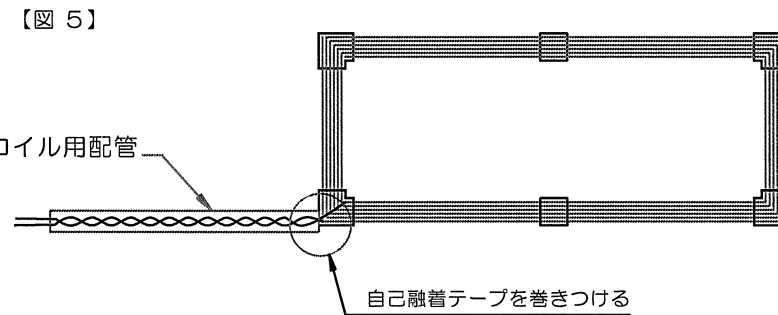
(10) ループコイルをモールにセットする。

(11) カバー、曲がり、ストレートの部品を組み付ける。

(12) 溝へ仮設置する。
溝へ収納できる場合→手順(13)へ

溝へ収納できない場合
・溝の各コーナーの角を必要に応じて落とす。
又はモールの長さ調整・モールへのループコイルの巻き直しをする。

(13) ループコイル用配管にリード部を通線する。
配管とモールの接合部分を自己融着テープ等で固定保護する。



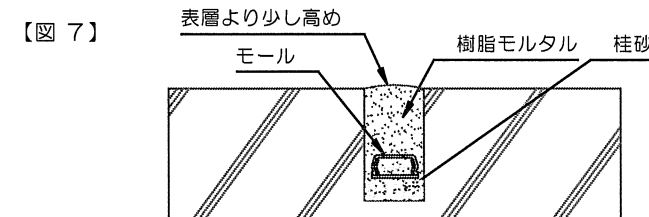
注：モールの釘穴も、自己融着テープ等を巻きつけて塞ぐ

自己融着テープ参考品番：古河電工 エフコテープ2号
または、絶縁ビニルテープ

(14) 必ず施工写真を撮り資料として保管する。

(15) 絶縁抵抗を測定する。(大地間)
絶縁範囲 晴天時 100MΩ以上
(DC500V 直流抵抗 2Ω以下)
雨天時 20MΩ以上
(DC500V 直流抵抗 2Ω以下)

(16) 樹脂モルタルでモールを保護するように充填する。
注：充填時、空隙が生じないよう溝中へ押し込む様に何回も繰り返す。
注：充填材は電線を傷つけないよう注意しながら割り箸、木製のヘラ等で十分に突き固める事。
注：充填材は表層よりも少し高めにする。
樹脂モルタル参考品番：ABC商会 クリートボンド 樹脂モルセット 9kg
(約4リットル使用可)



(17) 溝の回りのガムテープをはがす。

(18) 養生をする。夏場2時間程度、冬場4時間程度。

注：セメントモルタルでの充填はしないこと。
(クラック及び剥離の原因になる。)
注：施工後すぐ車両を通過させたい場合はコンパネ(合板)等で養生し通行させる。

ループコイル埋設時の一般注意事項
1. 路面から30~100mmくらいの深さに埋設する。
2. コイルの電線は傷がつかないように、また地中での結線がないようにする。
3. 鉄製の折板(デッキプレート等)からは50mm以上離す。
4. 鉄製のマンホール・グレーチング・鋼製溝蓋からは500mm以上離す。
5. ループコイルの上には鉄筋や鉄ラスが無い事。
6. 近くに高圧や強電流の電線が無い事。

アスファルト/コンクリート カッター施工

改訂 CHANGE	外注	作成 DRAW	照査 CHECKED	設計 DESIGNED	検認 APPROVED	尺 度 SCALE	第3角法 3RD ANGLE	ループコイル埋設基準
	検査	パブリックス 17.9.27	パブリックス 17.9.28	パブリックス 17.9.27	パブリックス 17.9.28	NTS		モール埋設
	品質	倉	志津野	倉	高平			
	現場 控					常用 保留 一時	DRWG NO.	CO01C055B